

天童市議会だより

2019
8.1
No.165
TENDO



6月定例会

- 2 一般質問 12人
- 9 予算特別委員会 令和元年度補正予算
- 10 提出された議案とその結果
- 12 特集1 議会報告・意見交換会
- 14 特集2 常任委員会 行政視察報告
- 16 市民の声・9月定例会の日程（予定）

▲寺津児童クラブでは、一輪車やスケートボード、ボール遊び、砂遊びなどの外遊びを満喫しています。また、さつまいも等の野菜を育てたり自然豊かな地域でのびのびと生活しています。

インターネットで
議会中継

天童市議会 で 検索

www.city.tendo.yamagata.jp



市政に対する一般質問



市政に対する一般質問は、6月4日・5日の2日間の日程で、12人の議員が行いました。

住宅団地整備や防災対策、幼児教育・保育の無償化実施などについて市長や教育長等の見解を求めました。

※ 議員の原稿をそのまま掲載しています。

質問者と質問事項 (☆印は党派名)

★政和会

結城義巳 議員

* 教育政策の方向性について

後藤和信 議員

* 水の涵養について

* 難聴対策について

佐藤俊弥 議員

* (仮称) 芳賀寺津線(スポーツ交流ロード)について

* 羽陽学園短期大学への通学路について

★日本共産党天童市議団

石垣昭一 議員

* 寺津地域における住宅団地の整備について

伊藤和子 議員

* 幼児教育・保育の無償化実施に当たっての対応について

★清新会

鈴木照一 議員

* 高齢者福祉計画と介護支援

* 放課後児童クラブの拡充を

武田正二 議員

* 災害時の乳児(0~12か

月) 対策について

* 幼児教育・保育の無償化について

水戸芳美 議員

* 保育ニーズの変化に伴う児童館の認定こども園化について

* 乳がん検診受診率アップについて

遠藤敬知 議員

* まちづくりの功罪と今後の対応について

★つごみ創生会

熊澤光史 議員

* 同報系防災行政無線をはじめとする整備について

* 地域で取り組む防災対策について

笹原隆義 議員

* 選挙について

* 障がい児福祉について

* ひきこもり者支援について

三宅和広 議員

* 人工知能(AI)の活用について

* パーソントリップ調査について

6 月 定 例 会

審査日程

令和元年度第2回市議会定例会(6月定例会)は、5月31日から6月14日までの15日間の会期で開かれました。

初日の本会議で、市長提出の報告案件6件と、契約議案2件が原案のとおり可決されました。また令和元年度各会計補正予算議案など10件については、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、右記日程での審査を経て、最終日の本会議で採決が行われました。

また、本会議最終日に市長提出の補正予算議案1件及び契約議案1件が上程され採決が行われました。

(採決結果は10ページに掲載してあります。)

月 日	内 容
5/31(金)	本会議 (会期の決定、提案理由の説明、予算特別委員会の設置など)
6/4(火) 6/5(水)	本会議 (市政に対する一般質問)
6/6(木)	総務教育常任委員会 (付託案件の審査) 環境福祉常任委員会 (//)
6/7(金)	経済建設常任委員会 (付託案件の審査)
6/12(水)	予算特別委員会 (付託案件の審査、討論、表決)
6/14(金)	本会議 (委員長報告、質疑、討論、表決など)



情緒がなくなっている現代、
英語より国語が大切ではないか

結城 義巳 議員

近年、世相があまりにも殺伐としてきたように思う。見知らぬ人を、何の理由もなく刺し殺してしまふ。親が子を、子が親を殺したという事件が、毎日のように報道されている。現代社会は、情緒がなくなってきたからではないのか。

国語をしつかり学ばずに、英語を学んでも、情緒は涵養されないのではないか。英語よりも国語を重視すべきと思うがどうか。教養がないと、大局観が持てず、重要な局面において間違ってしまう。教養はいかにして身につければよ



森林の混合樹林化

後藤 和信 議員

戦後植林された杉の人工林が伐期を迎えているが、安い外国材の影響で、木材の利用が進まず、山林が荒廃してきている。山林が荒廃してくると、保水力を失うため、表土が流れ、土砂災害や洪水の原因ともなってくる。そこで、今年度か

ら始まる森林環境譲与税を活用し、市内の管理が行き届いていない人工林の手入れを行い、水の涵養性が高い広葉樹を植林し、混合樹林に変えていくべきである。温泉の地下水保全のためにも雨呼山水系の対策も必要なのではないのか。

いか、方法はただ一つ、本を読むことであると、作家で数学者の藤原正彦氏が述べている。ボランティアによる読み聞かせ等を含めて、読書推進を図っているが、全国では住民一人当たり、43冊も読んでいる自治体もあるのです、もっと読書推進を図る考えはないか。

間の外国語活動が3、4年生に移行し、5、6年生では外国語が週2時間新設される。ただ、外国語だけでなく日本の歴史や文化等の教養とともに思考力、判断力、表現力等を兼ね備え、相手との円滑なコミュニケーションができる力を、学校教育全体を通して身につけていくことが重要だ。

また、平成26年度に策定した読書活動推進計画に基づき、市内各小学校において地域ボランティアによる読み聞かせや朝読書等の推進に力を入れている。朝読書は全ての小中学校で取り組み、読み聞かせは、全ての小学校で行っている。平成29年度に子供読書活動優秀実践校として、文部科学大臣表彰を山形県で5つの団体が受賞しているが、山口小、山形電波工業高校(当時)、市立図書館の3つが市内の団体である。大きな成果と考えている。

山本市長 森林経営管理法

が施行され、適切な管理運営ができない私有林については、所有者の意向を確認したうえで、市が委託を受け、森林環境譲与税を活用し、森林整備を進めていく。その中で、林業経営に

くためにも、森林の水源涵養機能を十分に発揮できるように「天童市森林整備計画」に基づき、適切な管理をしていく。

て伺いたい。山本市長 聴覚検査は、95割の方が受けている。受診しない家庭もあったことから、検査の大切さを「びよママ安心パック事業」などをとおして周知していく。

新生児聴覚検査

毎年、市内で500人程度の新生児が誕生している。統計上1000人当たり一人から二人の割合で、聴覚に障がいが見つかっている。今後の支援体制につ

過去5年間で4人を見つかり、保育園や学校、医療機関と連携し、早期発見・治療、療育につながっている。検査費用の公費負担については、周辺自治体の状況をしながら検討していく。



べにばなスポーツパークを
一本道で結ぶ

佐藤 俊弥 議員

平成28年7月にスポーツ交流ロード（仮称）芳賀寺津線の整備促進を目的とした整備促進協議会が発足した。整備が進むと地域間交流が生まれ、また交通緩和で安全になる。国に強く要望しているスマートインターチェンジが建設される

と人口増加につながると思うが、市長の考えを伺いたい。

山本市長 幹線道路の整備には多額の費用が伴うことから、現在、市が取り組んでいる補助事業路線の早期完成を進める中で状況を見定めながら当該路線の計画

を進めていく。
伊藤建設部長 芳賀寺津線は、かねてから要望いただいた中で地域発展に大変有効な道路と認識している。

羽陽学園短大への
アクセス

学校への通学方法はマイカー、電車とさまざまであるが、電車を利用する学生は、高掬駅から主要地方道山形天童線の狭い歩道を通学している。

今日日本で起きている交通事故は通学路における事案が多いことから、早急な安全対策が必要と考える。

山本市長 主要地方道山形天童線の歩道は、道路を管理する県に現状を伝えてい

る。本市では、通行車両に対する区画線及び路面表示等による安全対策や、地域住民及び関係機関と一緒に通学路等の安全点検活動を実施しており、今後もこのような活動を継続し、歩行



▲羽陽学園短大前の狭い歩道

者の交通安全の確保に努める。



寺津地区の住宅団地整備を
どう進めるのか

石垣 昭一 議員

今年2月、市立寺津公民館で宅地開発基本調査報告会が開催された。結果報告と併せ、住宅団地予定候補

地で土器の破片が発見され、3月中に埋蔵文化財予備調査を実施し、その報告を6月中に行うとしていた。遺構が見つかったと聞

いているが、本調査は実施されるのか。

市は昨年7月のまちづくり懇談会で、住宅団地整備の進捗状況について、基本調査の評価や課題を検証し、県すまい・まちづくり公社との協議を重ね、事業の可否について、平成30年

度中に判断するとしていた。それが埋蔵文化財予備調査の実施により、可否判断は先延ばしになった。

地区民からは、これからどう進むのか、本当に団地はできるのかと不安の声がある。寺津地区の最大の課題が先延ばしになり、結局事業中止になるなら地区民の失望は大変大きなものとなる。今後、住宅団地整備をどう進めるのか伺いたい。

山本市長 寺津地区におけ

る住宅団地整備は、事業化の可否等を判断するため、昨年度、県すまい・まちづくり公社に基本調査を委託した。その中で軟弱地盤対策による事業費の増加を要するとの課題について報告を受けている。

また、候補地の選定調査の一環として行った埋蔵文化財の試掘調査で遺構や土器片が発見されたため、宅地造成工事前には埋蔵文化財の発掘調査が必要となる

可能性がある状況となっている。

このような状況から発掘調査に要する費用が増え、事業費がさらに増加することが想定される。

このような課題への対応を図るため、事業計画の見直しを含め寺津地区の住宅団地整備の可能性について引き続き検討を進めたい。



幼児教育・保育の無償化の
市民への周知は

伊藤 和子 議員

今年10月から実施される
幼児教育・保育の無償化は
制度が複雑なため、保護者
から不安の声が聞かれる。

無償化に伴う事務は市が
窓口になるが、市民への周
知をどう図っていくのか。

山本市長 幼児教育・保育
の無償化は、少子化対策と

して消費税率引き上げによ
る財源を活用し、今年10月
から実施する予定だ。

無償化の対象は3歳から
5歳の全ての子ども、0歳
から2歳までは住民税非課
税世帯の子どもに係る保育
料となっている。

対象施設は、幼稚園、認

- 王将
- 金将
- 銀将
- 金
- 桂馬
- 金
- 香車
- 金
- 飛車
- 龍王
- 角行
- 馬
- 歩兵
- と
- 王将
- 金将
- 銀将
- 金
- 桂馬
- 金
- 香車
- 金
- 飛車
- 龍王
- 角行
- 馬
- 歩兵
- と
- 王将
- 金将
- 銀将
- 金
- 桂馬
- 金
- 香車
- 金
- 飛車
- 龍王
- 角行
- 馬
- 歩兵
- と



高齢者福祉計画と介護保険事業計画
人材確保のための支援を

鈴木 照一 議員

各計画の進捗率と介護職
の人材確保に向けた取組み
は。職員の宿舍借り上げや
夜勤手当等の拡充、介護職
員の子どもの優先保育等の
支援が必要ではないか。

山本市長 平成30年度は、
65歳以上の高齢者が1万8
277人、高齢化率29・5

が。介護認定者が2717
人。介護が必要な高齢者は
増加傾向にある。在宅サー
ビスと施設サービスは共に
約3割、地域密着型サービ
スは15割伸びている。新た
にグループホーム18床を整
備し来年度に開始予定であ
る。地域密着型特別養護老

可保育所、認定こども園に
加え、保育の必要性が認め
られる子どもについては、
届出保育所施設を利用する
場合も対象になる。

子どもの年齢や施設の種
類によって無償化の適用範
囲が異なるなど、大変複雑
な制度となっている。

内容が明らかになり次
第、保護者に対してできる
だけわかりやすい文書を作
成し、制度の内容と手続等
について、丁寧な周知に努



人ホームを公募したが、応
募がなかったため今年度再
公募し整備する。

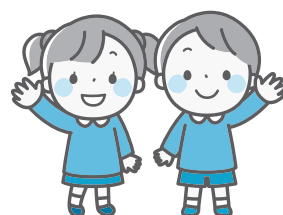
介護人材は本市でも不足
している状況にある。夜勤
手当の拡充を含め介護職員
の処遇改善について、市長
会を通じて国に要望してい
る。職員の宿舍借り上げ等
については、先進事例を調

めたい。また、幼稚園や保
育所などの施設に対しても
丁寧な説明を行う。

子どもの安全と保育の質
をどう保障するか

国会の参考人質疑では、
5年間の経過措置で補助対
象になる認可外保育施設の
安全確保策が大きな問題と
なっていた。

子どもの安全と保育の質
の向上のため、どう対応す
るのか。



山本市長 市内14か所の届
出保育施設は、全て基準を
満たしている。保育士就職
ガイダンスや保育士宿舍借
り上げ支援事業を引き続き
実施し、保育士確保を支援
する。

査研究するとともに、介護
事業者と意見交換会を行
いながら、国・県と連携を図
り支援の強化に努める。

放課後児童クラブの拡充
中央第二の整備を

施設整備の判断基準は。
児童数が急増している小学
校において、新たに施設を
整備する必要があるのでは
ないか。暫定的に設置された天
童中央第二学童は、早期に
移転整備すべきではないか。

山本市長 施設整備に当
たっては、受入れ可能児童
数及び入所児童数、将来の
児童数の推移や入所率の伸
び率等を勘案し、総合的に
判断している。

今後の施設整備は、放課
後児童クラブの中期的な
ニーズを見極め、国の方針
と学校の実情を踏まえて検
討する。天童中央第二学童
についても、今年度策定す
る子ども・子育て支援事業
計画の策定過程で整理する。



液体ミルクを 災害物資に

武田 正二 議員

液体ミルクは、今年3月から国内店舗での販売がスタートした。内閣府は「男女共同参画の視点からの防災・復興の取り組み指針」に液体ミルクの使用に関する説明を加え、災害物資として普及への後押しをする方針である。災害時、乳児

用粉ミルクに比べ、授乳者の負担軽減や安全面で、利点がある。赤ちゃんの命を守るために液体ミルクの備蓄も考えた対策を検討すべきと思うが、市の考えを伺いたい。

山本市長 液体ミルクは、現在、備蓄している備蓄品

に比べ、賞味期限が6カ月から1年と短い。市では、災害時の備蓄について、各家庭で最低3日分の食料等の備蓄を普及啓発している。今後、市のホームページや自主防災組織の訓練等を活用しながら、乳児のいる家庭の備蓄品に含めてもらうよう周知を図っていく。

また、災害時に液体ミルクが必要な場合については、災害協定を結んでいる事業者等から速やかに調達

できる体制を整えて対応していきたいと考えている。

の無償化は、施設の種類や子どもの年齢によって無償化の適用範囲が異なる。保護者から実費として徴収している通園送迎費などの経費は、原則無償化の対象から外れるほか、食材料費は年齢によって取り扱いが変わるなど、大変複雑な制度となっている。国の制度が明らかになり次第、保護者及び保育施設等に対し、制度の内容と手続きについて丁寧に周知をしていく。

幼児教育・保育の無償化 実施される内容は

幼児教育・保育の無償化が、消費税率引き上げ時の今年10月1日から実施を目指すこととされている。実施される内容について、当該保護者を含め、各施設への広報・説明はどのようになっているのか伺いたい。

山本市長 幼児教育・保育

の無償化は、施設の種類や子どもの年齢によって無償化の適用範囲が異なる。保護者から実費として徴収している通園送迎費などの経費は、原則無償化の対象から外れるほか、食材料費は年齢によって取り扱いが変わるなど、大変複雑な制度となっている。国の制度が明らかになり次第、保護者及び保育施設等に対し、制度の内容と手続きについて丁寧に周知をしていく。



児童館を早急に 認定こども園にすべき

水戸 芳美 議員

児童館は、小学校に入る前の3歳から5歳までの子どもを対象に、保護者が働いている、いないにかかわらず入館できる。また、使用料の月額が所得に応じて3000円〜1万4000円までとなっており、減免も受けられ大変利用しやすい

い条件となっている。しかし、児童館の入所率が極めて低い。地域の児童数が減ってきている要因もあるが、若者世帯の多くが共働きで子育てをしており、児童館の受け入れ時間帯が合わないという世帯がほとんどである。近くに子どもの

面倒を見る施設があるのに預けられないというのは、子育てしている家庭にとって大きな負担となっている。早急に、早朝・延長保育ができる認定こども園にすべきではないか。

山本市長 最近の保育ニーズの変化等を踏まえ、認定こども園への移行が望ましいと考えている。今後、各地域の保育需要を見極めながら、できるだけ早く方向性を見出していきたい。

乳がん死亡ゼロを目指し、 検診率アップを

乳がんは、早期発見すれば完治が期待できる。乳がん検診をより多くの人に受診していただくために、ピンクリボンシリーズマイル運動を展開しているが、検診率が43割とまだまだ低い。そのため、乳がんに関する知識や自己検診法などの動画をDVDにまとめ、受診しない人に送るなど、

乳がん検診の重要性を発信してはどうか。

桃園健康福祉部長 ピンクリボンメイトの養成講習会の中で、乳房模型を使った自己検診法などの学習を行っている。映像を使った啓発活動は大変効果的だが、自前での制作は難しい。今後とも、さまざまな視覚的教材を活用して啓発活動を推進していきたい。



農村地域のコミュニティの維持・増進を図るべき

遠藤 敬知 議員

本市の今日までの発展は、先代の為政者が土地区画整理事業による整然としたまちづくりを進めてきた結果であり、今や成熟しつつあることは市民が等しく認めるところである。しかし、その一方で市街化調整区域の農村部は、住宅建設

が抑制され年々人口が減少し、小学校やコミュニティの維持に苦慮している。周辺農村部が過疎化すれば、いずれ中心市街地も衰退するのは必然であり、早急に農村地域のコミュニティの維持・増進を図るべきでは。山本市長 都市計画マスター



発災時に必要な情報が得られる環境を

熊澤 光吏 議員

天童市一斉メールの登録者数が本市人口の2割、西部地区への防災ラジオ無償貸与の申請件数が6月5日現在で130台中2台であり、市民の発災時の情報収集に対する受信方法の認知度と災害に対する関心度の低さに対し、本市はどのよ

うな対策を講じるのか。山本市長 避難勧告等の防炎情報は今年6月から警戒レベルを付して発令することに伴い、その内容と避難情報の入手方法について、チラシ全戸配布など各種広報手段のほか、地域や学校で防災に関するいきいき講

プランでは、市総合計画や市国土利用計画に即して、市街地と田園集落それぞれの施策の共存、地域の均衡ある発展を目指している。少子高齢化の進展に伴い、農村部での人口減少が進む中、地域コミュニティの維持は大きな課題でもあり、行政としての責任と捉えて、定住人口の確保に努める。

寺津地区民総意の要望に行政として応えるべき

座や催し等の機会を捉え積極的に周知を行う。

地域の特性を踏まえた地域別防災マニュアルを

町内会役員のなり手不足や地域交流が減少傾向にあるなど、さまざまな課題や問題があり防災に対する温度差が生じている。地域防災力を高めるうえで、自助・共助の強化を目的とし、防災という重要な課題に向けて地域との関わりを促進

人口減少は、即、小学校の児童数の減少をもたらし、教育の機会均等を脅かすことに連動する。現在、寺津小学校の児童数は74人で、市内では最も規模の小さい学校になっている。このまま推移すれば複式学級はどうか、学校の存立にも影響しかねないとの危機感から住民集会を開催し、県住宅供給公社による住宅団地の造成を、寺津地区振興会議名で市に要望している。こ

れまで行政の補完的役割を、延々と担ってきた寺津地区の民意をくみ取り、切なる願いに応えるべきでは。山本市長 寺津地域の人口減少、特に子どもの数が減っていく状況を考えれば、定住人口を促進するため何らかの施策を講ずる必要がある。住宅団地の造成は寺津地域の切なる願いであり、限られた時間ではあるが、計画の見直しも含め整備の可能性を早急に検討する。

させるとともに、地域住民が当事者意識を持って自ら考え取り組める地域別防災マニュアルが必要ではないか。

災、災害に関心を持ち、自らの判断で主体的に行動してもらえようという全力でサポートしていく。

山本市長 自主防災組織の防災資機材更新等の機会を捉え、地域の防災計画の定期的な見直しを働きかけていく。今後も計画内容が各地域の実状を踏まえた実効性のあるものとなり、地域住民一人ひとりが自らの命と家族の命を守るため、防

遠藤総務部長 地域別防災マニュアルについて、それぞれの自主防災会で策定しているが、現状に合わないものが多々あるため、内容等の検討と見直しができるようにさまざまな面で支援していきたい。また、町内会単位で防災意識等について啓発を検討していく。





特別支援学校中学部・高等部の早期建設を

菅原隆義 議員

特別支援学校の中学部・高等部の設立に向けて県に重要事業で要望しているのは承知しているが、積極的な形で進めるため、関係者との協議会を設立するなど

現状の支援では足りないとの声もある。市または教育委員会、支援の拡充、また乗り合いバスで交通支援の補完ができないか。

相澤教育長 協議会を作っ

て今すぐ組織的に動く計画はないが、特別支援学校の保護者から色々な情報を集



保育所の入所施設選考に人工知能（AI）を活用しては

三宅和広 議員

人工知能（AI）を業務に活用する自治体が増えていく。今後、本市においても各種業務でAIを活用し市民サービスの向上や業務の改善を図る必要があるのではないだろうか。

保育所等の入所施設選考業務のように手順が明確な

作業は、AIを活用するのに適した業務である。先行事例として保育所等の入所施設選考業務で実施してみている。来年度は施設数が増え、保育所利用調整業務はこれまでより大幅に増大する見込みである。その

めながら、保護者の声を県への要望として届けていく。なお、特別支援学校の中学部・高等部設立と天童校の施設拡充についての要望は、天童校の開校以来、県へ要望しており、今後も続けていくことが重要と考える。また、通学支援拡充については、スクールバスの配備案を作れるが、行政当局と十分相談していく必要がある。通学支援拡充は望ましいが、現在の制度を基

ため、事務の見直しと効率化は大きな課題となっている。今後は先進自治体の動向を注視するとともに、AI等の導入による費用対効果について研究していく。

本に考えている。
山本市長 通学支援については、現時点で支援の拡充を行う予定はない。なお、引き続き県に対してスクールバス等の通学支援を強く要望していく。

選挙の投票率向上へ

本市の選挙において投票率が下がっているが、7月参院選、9月市議選に向けて市民の関心を高め、投票

率の向上をどのように図っていくのか。
秋葉選挙管理委員長 大変好評だったイオンモール天童での期日前投票を1日延長し、5日間実施する。また、選管だけで投票率向上を図るのは限界がある。政治に無関心な層の割合が大きくなっており、議員の政治活動の中で、市民が政治に関心を高めて選挙への参加を促す協力をいただければありがたい。

パースントリップ調査をどう生かすか

山形広域都市圏パースントリップ調査の結果が公表された。

ることができるとされている。本市ではこの結果をどのように活用していくのか。また、活用を進める旗振り役が必要ではないか。

この調査では「どんな人が」「いつ」「どこからどこへ」「何の目的で」「どのような交通手段で」「移動したかを調べる。その結果は、交通計画、都市計画、防災、福祉などの分野で状況を分析し、政策の立案に役立て

山本市長 各課で情報を共有し、市の総合計画や都市計画マスタープランなどの計画立案の基礎資料や各施策の参考資料として活用していきたい。

人工知能（AI）とは？

これまで人間にしかできなかった知的な行為を、コンピューターに行わせる技術
保育所等の入所施設選考業務は、AI活用に適した業務ではないか。

一般会計 3億208万9000円を 増額補正

一般会計・特別会計補正予算は、予算特別委員会に付託され審査された後、本会議において、原案のとおり可決されました。

審査の主なものは次のとおりです。

千布小学校の プール改修工事

委員 小学校の施設整備工事費7863万円の内容は、傷んでいるプールもあ
るようだが今後の対応は、
教育次長 千布小学校の
プールの改修は天童南部小
学校を残すだけとなる。
改修が必要なプールは、
今後、学校施設長寿命化計
画の中で考えていく。



▲改修が予定されている千布小学校プール

低所得者の介護保険料を 負担軽減

委員 2002万3000
円軽減されるが、低所得者
の負担軽減の対象者数と軽

減される額は。対象者への
周知は。

保険給付課長 介護保険料
は11段階で賦課している
が、低所得者層3段階の負
担を軽減する。軽減する費
用は国が2分の1、県と市
が4分の1ずつ負担する。
介護保険料は7月に賦課通
知される。市報にも掲載す
る。

各段階における対象者数と軽減額合計

	対象者数(人)	軽減額合計 (万円)
段階1	1,711	854.3
段階2	1,108	947.3
段階3	1,174	200.7
合計	3,993	2,002.3

道路改良工事業

委員 地方道路新設改良工
事事業の8317万9000
0円の内容と完成の予定は。
建設課長 工事の主な内容
は、矢野目高揃線に関連す
る自動車道など約1000
の改良と向原1号線220
の道路改良工事である。

矢野目高揃線は今年度での
完成を目指す。向原1号線
は令和2年度で完成の予定
である。

公園施設整備事業

委員 公園の管理に要する
経費3480万円の内容と
公園の男子用トイレのドア
の設置は。

都市計画課長 本町公園に
ついて、トイレの洋式化や
バリアフリー化の整備を行
い、利用しやすい環境づく
りをする。他にも老朽化し
た遊具の更新工事を行う。
男子用トイレについても目
隠しの配慮は必要であり、
ドアの設置を考えている。

危険ブロック塀撤去 支援補助金の増額補正

委員 昨年、ブロック塀の
調査で特に危険なブロック
塀があったが、補助金申請
はどのくらいあったか。当
初予算150万円、同額の
追加補正だが、間にあうの
か。

建設部長 特に危険な所有
者には戸別に働きかけ、協
力いただいた方もある。4
月の受付から一か月で、14
件の申請を受理し、相談も
数件あり、補助金が不足す
るので補正するもの。

一般会計補正予算の あらまし

補正額 3億208万9000円

主な内容 (単位：万円)

介護保険特別会計 繰出金	3,143
商工業の金融対策 に要する経費	630
地方道路の新設改良 に要する経費	8,317
公園の管理に要す る経費	3,480
小学校の管理に要 する経費	7,863
住宅の耐震化支援 に要する経費	150

提出された議案とその結果

平成31年度第1回臨時会が開催され、原案のとおり可決されました。また、令和元年度第2回定例会に提出された議案とその結果は次のとおりです。

第1回臨時会(4月25日)〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
報第1号	平成30年度天童市一般会計補正予算(第9号)の専決処分の承認を求めることについて	承認 (全会一致)
報第2号	物損事故に係る損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	報告
議第1号	平成31年度天童市一般会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第2号	天童市市税条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第3号	天童市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第4号	山口西工業団地造成工事(31-1工区)請負契約の締結について	原案可決 (全会一致)
議第5号	山口西工業団地道路改良工事(第1工区)請負契約の締結について	原案可決 (全会一致)

第2回定例会(5月31日～6月14日)〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
報第3号	平成30年度天童市一般会計予算繰越明許費の報告について	報告
報第4号	平成30年度天童市水道事業会計予算繰越しの報告について	報告
報第5号	天童市土地開発公社の経営状況並びに事業計画の報告について	報告
報第6号	公益財団法人天童市文化・スポーツ振興事業団の経営状況並びに事業計画の報告について	報告
報第7号	株式会社スポーツクラブ天童の経営状況並びに事業計画の報告について	報告

議案番号	件名	結果
報第8号	平成30年度天童市情報公開条例の運用状況の報告について	報告
議第6号	令和元年度天童市一般会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第7号	令和元年度天童市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第8号	天童市手数料条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第9号	天童市高齢者健康福祉施設の設置及び管理に関する条例の設定について	原案可決 (全会一致)
議第10号	天童市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第11号	天童市介護保険条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第12号	天童市火災予防条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第13号	天童市高齢者健康福祉施設建築主体その他工事請負契約の締結について	原案可決 (全会一致)
議第14号	天童市高齢者健康福祉施設機械設備工事請負契約の締結について	原案可決 (全会一致)
議第15号	市道の認定及び廃止について	原案可決 (全会一致)
議第16号	高規格救急自動車の取得について	原案可決 (全会一致)
議第17号	天童市特別職に属する者の給与に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第18号	令和元年度天童市一般会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)
議第19号	天童市立津山公民館改築主体工事請負契約の締結について	原案可決 (全会一致)

議会のうごき

(4月1日～7月19日)

■4月

- 4日 広報委員会
- 4日～5日 東北市議会議長会定期総会
- 11日 議会運営委員会
- 12日 広報委員会
- 17日 市長要請経済建設常任委員会
- 18日 市長要請総務教育常任委員会
- 22日 富山市議会視察来童
- 23日 全員協議会(市長要請を含む)
- 25日 議会運営委員会
平成31年度第1回市議会臨時会
市長要請各派代表者会

■5月

- 14日～16日 総務教育常任委員会行政視察(熊本県菊池市・宇土市、鹿児島県日置市)
環境福祉常任委員会行政視察(東京都町田市・日野市、神奈川県秦野市)
- 15日～17日 経済建設常任委員会行政視察(静岡県掛川市、愛知県岡崎市、静岡県伊豆市)
- 20日 ICT議会推進委員会
市長要請全員協議会
- 21日 議会報告・意見交換会(天童北部・蔵増・山口・田
麦野・干布)
- 22日 市長要請各派代表者会
山口県光市議会視察来童
議会報告・意見交換会(天童中部・成生・寺津・高掬)
- 23日 議会報告・意見交換会(天童南部・津山・長岡・荒谷)
- 24日 ICT議会推進委員会
議会運営委員会
市長要請環境福祉常任委員会
- 29日 山形県市議会議長会定期総会
- 31日～6月14日 第2回市議会定例会
- 31日 広報委員会

■6月

- 5日 議会運営委員会
- 6日 市長要請総務教育常任委員会(連携中枢都市圏構想
について)(天童市いじめ防止基本方針の改定について)
- 7日 市長要請経済建設常任委員会(危険ブロック塀等撤
去支援事業の実施状況について)(山形県管理河川
の洪水浸水想定区域の見直しについて)
- 7日～8日 さくらんぼトップセールス(議長/東京都)
- 10日 ICT議会推進委員会
全国温泉所在都市議会議長協議会総会(議長、局長
/東京都)
- 11日 全国市議会議長会定期総会(議長、局長/東京都)
- 12日 各派代表者会
- 13日 議会運営委員会
- 14日 広報委員会
- 19日 県への重要事業要望(議長、局長/県庁)
- 21日 市長要請経済建設常任委員会(降雹被害に対する市
の対応について)
- 24日～25日 政和会先進地視察(埼玉県吉川市、千葉県我
孫子市)
- 25日 東京都葛飾区議会視察来童

■7月

- 2日 静岡県御殿場市議会視察来童
東根市外2市1町共立衛生処理組合議会運営委員会
- 3日 広報委員会
- 5日 愛知県東海市議会視察来童
- 8日 東根市外2市1町共立衛生処理組合定例会
- 9日 知事を囲む市町村自治振興懇談会(議長、局長/山
形市)
- 11日 広報委員会
- 11日～15日 中国瓦房店市市民訪問団(議長/中国)
- 12日 栃木県那須町議会視察来童
- 17日～19日 清新会先進地視察(大阪府豊中市・堺市、兵
庫県明石市)

6月11日に東京・東京国際フォーラムで開催された全国市議会議長会定期総会において、次の方々が表彰されました。

永年勤続表彰

- ◇議員20年以上
鈴木 照一 議員 (H7.10～)
- ◇議員15年以上
赤塚幸一郎 議員 (H15.10～)
結城 義巳 議員 (H15.10～)
- ◇議員10年以上
村山 俊雄 議員 (H20.12～)

赤塚幸一郎議長に感謝状

全国市議会議長会評議員として会務に精励されたことに対し感謝状が贈られました。



教えてケロっす

Q 請願の提出の仕方は？

A 市議会へ請願書を提出する制度は、市民の皆さんの意見や要望を市政に反映させる方法として、法律上認められた権利の一つです。請願を提出する場合には、請願書に必ず1人以上の紹介議員の署名または記名押印が必要となります。

請願書は、いつでも受け付けていますが、議会定例会招集日(開会日)前8日正午までに受理した請願は、その定例会で審査します。所管の常任委員会で審査された後、本会議において採択・不採択が決定されます。

紹介議員について、自己の所属する委員会の所管事項に関する請願については、紹介議員になれません。

※請願の締め切りは、8月6日(火)正午の予定です。

ご利用ください メール配信サービス

天童市では、議会の開催情報や、災害、観光・イベント、健康・子育てなどの情報を、電子メールでお知らせするメール配信サービスを行っています。ぜひご登録ください。
※登録は無料です。ただし、メールの受信などにかかる通信料・パケット通信費は登録された方の負担となります。

かんたん登録

すべてのメニューを受信する登録方法です。
tndml@city.tendo.yamagata.jp
または、右の二次元コードに空メールを送信してください。



議会報告・意見交換会を 開催しました

議会報告・意見交換会を、5月21日から23日まで市内12カ所で開催しました。147人の参加をいただき、市民の皆さまに感謝を申し上げます。

議会の活動状況等の報告と、地域の身近な課題など活発な意見が交わされました。

議会へのご意見、ご要望等は、市民の皆さまの貴重な声として対応を協議し、市政に対するものは、議会における政策立案や政策提言につなげていきます。さらに、市長等に文書で提出します。

なお、各会場の報告書（簡易な会議録）は、議会報告会での質問等についての回答を含め、市立公民館及び市ホームページでご覧いただけます。

1班 山口・高掬・天童南部

伊藤護國、松田光也、村山俊雄、遠藤喜昭、笹原隆義

今回は、各種団体の役員の方ばかりでなく、独自の視点で問題意識を持ち、発言された方が目立った。子ども食堂、学童、防犯カメラ等々。

我々は、これらの提言を行政、議会双方の課題として取り上げ、実現に向けて議論しなければならぬと改めて強く思っ

（班長 村山俊雄）

2班 蔵増・天童中部・荒谷

鈴木照一、後藤和信、山口桂子、渡辺博司、三宅和広

今回も平日の夜、夕食時の開催となったが、参加された皆さまに感謝したい。

せっかくの機会なので、一人でも多くの方が気軽に発言できるように意識し、運営に努めた。特に各会場で「防災」についての発言が目立った。住民の関心の高さがうかがえる。

今回いただいた意見や要望等は、今後の議会運営や議会報告・意見交換会に反映したい。

（班長 鈴木照一）



3班 天童北部・寺津・津山

伊藤和子、結城義巳、遠藤敬知、水戸芳美、熊澤光史

参加を呼び掛けて集まってくれた会場もあり感謝したい。

それぞれの地域の課題も具体的に出示されて、認識を深めることができ、地域の方々との意見交換の場になった。

時節柄、議員のなり手不足の話題も出て、さまざまな考えが交換された。18歳から投票できるようにになったのだから、若い人たちとの意見交換もやったらどうかとの提案もいただいた。

（班長 伊藤和子）

4班 干布・成生・長岡

水戸 保、石垣昭一、山崎 諭、狩野佳和、武田正二、佐藤俊弥

14回目の今回、まちづくり懇談会の開催前であったが、参加するのが数回の方、また初めての方等を含め、各会場とも多くの皆さんに参加していただいた。

議会は堅苦しいと映るのか、ざっくばらんな意見交換をやってほしいという声があり、これからの進め方として、議会だより等文書にあるものは、説明を省略し市民が気楽に質問できる雰囲気づくりが必要と感じた。

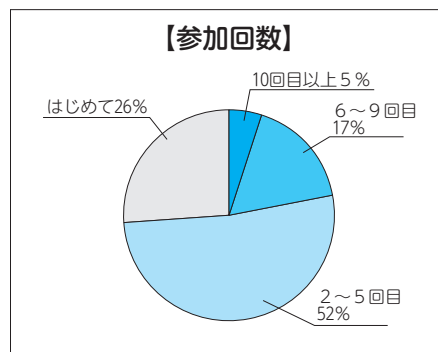
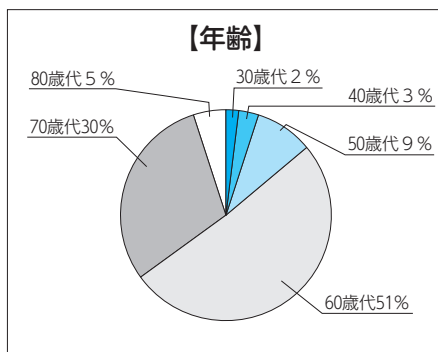
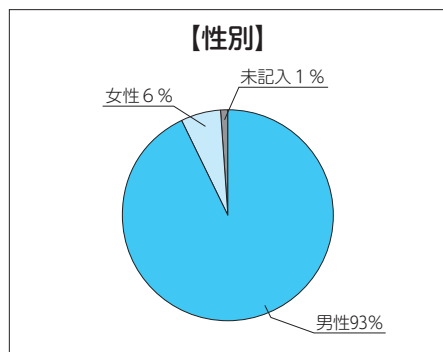
（班長 水戸 保）

参加者へのアンケート 集計結果

○会場ごと参加者数

天童南部	天童中部	天童北部	成 生	蔵 増	寺 津	津 山	山 口	高 揃	長 岡	干 布	荒 谷
5	16	13	10	16	5	1	20	8	22	24	7

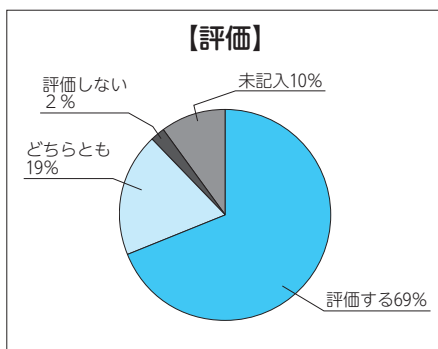
参加者合計	アンケート回答者数	アンケート回答率
147	128	87.1%



参加者の性別は9割以上が男性であり、年代は60歳～70歳代が8割以上を占めている。町内会役員等の地域活動をしている方が積極的に参加して下さったと推測される。参加人数は会場によってばらつきがあるが、10人を下回る会場もあることから、地域の皆さんが関心のあるテーマ設定や、開催曜日や開催時間の工夫が必要であると思われる。また、これまで参加したことのない方からも足を運んでいただくため、さらにPRが必要である。

○議会報告・意見交換会 に対する評価について

「評価する」が6割以上であり、有意義だったとの意見も多かった。わかりやすさや内容の充実に努め、市民の皆さんの意見を市政に生かしていく場にしたい。



○議会・議員に対する意見・要望等（自由記載欄の抜粋）

議会報告・意見交換会の運営等

- *この会は、初めて参加させていただきましたが、直接いろいろお話が聞けて大変勉強になりました。ありがとうございました。
- *出席者のレベルが高く、もっともっと勉強する必要性を強く感じました。また自分の意見を持つ重要性も改めて感じた夜になりました。
- *説明、話題提供、質問等豊富でよかったが、軽難聴のため聞き取れない部分があり残念だった。マイクを使っては？
- *活発な意見交換でありました。市の現状、議員の方々の考え方、活動なども具体的に伺うことができ、有意義でありました。
- *意見交換会に参加しただけで、いろいろな意見を聞けるので有意義な会であると思います。
- *ざっくばらんな意見交換会で有意義でした。人数が少ないのもたまにはいいですね。
- *常任委員会等の行政視察等の説明が具体的で良かった。

議員・議会への要望等

- *防災について、一般市民への普及啓発を進めてほしい。また、市職員の意識向上を願っている。

- *農業者の実質所得を上げる施策を提言してほしい。
- *子どもたちが学びやすい環境づくりにご尽力ください。
- *市郊外の発展を考えてほしい。

市政への意見・要望等

- *敬老会開催について、誰もがやっていただいて良かったと思えるような会になってほしいと思います。婦人会の方も大変そうですので、是非改善していただけるように。私の所は、婦会のない地区ですが、長いこと手伝いを依頼されてやってまいりましたが、とても考えさせられました。敬老会にいらして「良かった」と思われる方がどのくらいいらっしゃるのでしょうか。時代にマッチした楽しい素敵な姿になりますように切望します。
- *現在、介護職員の離職率が多く、これから高齢化社会でかつ核家族化が進む中で、政策を見直す必要があるのではないか。
- *教育委員会と民生児童委員との懇談会等、情報交換の機会が持てないものか。(地区に限定した情報)

に学ぶ

行政視察の報告

本市議会では、常任委員会ごとに、先進的で魅力ある行政施策を実施している自治体などへ、関連する部署の市職員も同行し行政視察を行っています。

行政視察の成果は、市議会の中で、本市が抱える行政課題や市への提言等に反映され、今後のまちづくりに活かされています。

今回実施した行政視察の内容をご報告します。



▲総務教育常任委員会
宇土市 網田小学校を現地視察

総務教育常任委員会

5月14日～16日

熊本県 菊池市

地域おこし協力隊

熊本藩最大の米の積出港として栄えた菊池市は、人口約4万8000人。

菊池市は、外部からの「よそもの」・「わかもの」の新鮮な発想で地域づくりに取り組む人材として、平成27年度から、地域おこし協力隊を採用している。制度による隊員へのフォローも良く、任期を終了した隊

一貫教育を実施している。中学校教師が小学5・6年生の各教科に乗り入れ授業を行ったり、さまざまな交流をしていた。目標として、義務教育9年間を終了したときに求められる資質・能力を育成し、また、

員の移住状況は、全国平均を上回り、また、起業にも結び付いていた。天童市でも本年度からこの制度を活用するが、大変参考になった。

熊本県 宇土市

小中一貫教育の取り組み

小西行長居城の地宇土市は、人口約3万7000人。平成17年度から、文部科学省の指定を受けて、網田小・中学校で先行して小中

鹿児島県 日置市

企業版ふるさと納税

鹿児島県の中央部に位置

る。運行形態は路線固定型と、利用者の要望に応じた、区間内を自由にルートや時間を変えて回るデマンド型で、割引運賃や未登録者も利用可能な制度に工夫を凝らす。利用の拡大に至っていない。乗車率の向上は、本市と同様の課題である。

する日置市は、人口約4万8000人。

日置市では、市外に本社を置く企業からの寄附（企業版ふるさと納税）による「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」を行っている。行っている事業の一つに、赤ちゃんの誕生を歓迎し、今後の健やかな成長を願うことを目的とし、地元企業と連携した「ママニティボックスひおきコウノトリ便」の配布を実施している。市民に好評であり、検討したい内容であった。

（委員長 武田正二）

東京都 町田市

ひきこもり者への支援

首都圏有数の商業拠点で多摩地区の中核都市・町田市は、人口約43万人。就学、教育、保健医療、福祉、居場所等の関係機関が連携して総合的な支援を行っている。保健師と心理

神奈川県 秦野市

公共交通空白地への対応

湧水群を活用したポトルドウォーターが日本一の秦

環境福祉常任委員会

5月14日～16日

野市は、人口約17万人。

公共交通空白地や不採算バス路線の課題解消のために地域公共交通会議を設置し、利便性の向上に努めている。



▲経済建設常任委員会
伊豆市 食肉加工センターイズシカ問屋を現地視察



▲環境福祉常任委員会
町田市 ひきこもり者支援、子ども食堂について視察

士が相談員を担ったのグループワークやリーフレットの配布、講演会を開催して相談に結び付けている。本市としても連携したワンストップでの支援体制の構築が急務である。

子ども食堂

一人ぼっちの食事となる子どもたちを貧困の差別な

しに支援している。9カ所での開設だが、地域間のばらつきが課題である。市が実施主体ではないが、今後の参考としたい。

東京都 日野市

福祉と教育が一体支援

武蔵野の面影を残す日野市は、人口約19万人。

経済建設常任委員会

5月15日～17日

静岡県 掛川市

官民協働の公衆無線LAN

掛川市は、静岡県の西部に位置し、新幹線、国道1号、新東名高速道路と、日本の大動脈を抱え、人口は約11万人。現在、スマートフォン等は、外国人を含め多数の人が持つっており、無料での公衆無線LANの提供を官民協働で整備拡大している。また、オリンピックに向け、インバウンドに

愛知県 岡崎市

中小企業の売上アップ相談

岡崎市は、愛知県の中央

0歳から18歳までの子どもと、子育て中の保護者への総合支援施設として、発達・教育センター「エール」を平成26年4月開設。発達、教育、就学を一体として捉え、発達支援課と教育支援課を設置。エールは多様な専門職員を配置して、成長記録「かしのきシー

ト」を作成し関係機関が情報共有を図って、切れ目のない支援を実施している。本市も各関係機関が連携した相談支援体制のあり方を検討すべきと考える。

(委員長 遠藤敬知)

に位置し、古くから城下町・宿場町として栄え、人口約38万人。中小企業が大部分を占め、売上を伸ばしてもらったために、無料で相談できるビジネスサポートセンター（Oka-bin）を開設している。相談件数も年々増加し、売上や新商品開発の実績も向上し、女性の起業家も続々誕生している。すでに山形市で相談開始した「Oka-binとの連携を考えた」。

静岡県 伊豆市

シカ・イノシシのジビエ施設

伊豆市は、人口約3万人。シカやイノシシの増え

すぎによる深刻な農作物被害を受け、有害鳥獣捕獲許可による捕獲を実施している。捕獲後の処理に頭を悩ませていたが、命あつた動物を最大限に有効活用することが大切と考え、食肉加工センター（イズシカ問屋）を設置した。捕獲後4時間以内で持ち込み、30分～40分で素早く処理する。異常が見つければトレーサビリティもしっかりできるようになっていた。本市でもイノシシが増加しているため参考にした。

(委員長 水戸芳美)

市民の声

6月4日、高嶺公民館分館連絡協議会の行事の一環として、天童市議会一般質問を傍聴させていただいた。地方議会の様子を見るのは初めてのことであり、大変貴重な経験であった。議事の内容も教育に関するもの、環境問題、道路整備問題等々多岐にわたる興味深いものであった。質問に立った議員の方々も大変勉強されておられる様子で、温泉の涵養問題など問題意識を持って調べられていることには市民の一人として頼もしく感じられた。また答弁に立たれた市長はじめ市役所関係の皆さんも焦点をそらすことなく真摯に答えられており、国会とは違った本来の議会の姿を見ることができた。

羽陽学園短期大学への通学路の安全確保に関する問

市議会を傍聴して

山川 彰(66歳・清池)

題について一言。旧国道13号の部分に関しては県管理の道路であり、村山総合支庁に申し入れしているという答弁であったが、やや消極的ではという感じがした。県当局などにさらに積極的に働きかける必要があるのではなかるうか。高嶺駅周辺の防犯対策を含めた整備も、子どもたちの安全確保のために急務といえる。

今回、市議会を傍聴して、改めて、教育という観点から高嶺駅の重要性を認識するいい機会になった。議員の皆様が今後とも高い問題意識を持って天童市の発展のために活躍されることを期待するとともに、市当局の積極的な対応を期待する。

最後に加齢による難聴のせいかもしれないが審議の音が聞き取りにくいところが多々あった。ぜひ改善をお願いしたい。また機会があれば傍聴に訪れたいと思う。

9月定例会の日程 (予定)

インターネットで生中継します。

日	月	火	水	木	金	土
8/4	5	6 請願 締め切り	7	8	9	10
11 (山の日)	12 (振替休日)	13	14	15	16	17
18	19	20	21 本会議 (初日)	22	23 本会議 (一般質問)	24
25	26 本会議 (一般質問)	27 常任委員会	28 常任委員会	29 決算特別委員会	30 決算特別委員会	31
9/1	2 決算特別委員会	3 決算特別委員会	4 予算特別委員会	5	6 本会議 (最終日)	7

※請願の締め切りは、8月6日(火)正午の予定です。
※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

天童市議会 ギャラリー



6月27日
寺津小学校3年生の
議場見学



編集後記

- 6月定例会閉会后、さくらんぼ収穫を終え、参議院選挙も結果が出た。今後の政局が気になる。
- 14回目の議会報告・意見交換会有り、活発な意見交換になった会場もあったが、これからの進め方についてもっと検討する必要があると思う。
- 9月定例会は市議会議員選挙のため、早めの開会となる。我々広報委員は9月末までの任期で、9月議会の原稿を仕上げよう。
- 完成は新広報委員の仕事となるが、よりいっそう市民に読んでもらえる議会だよりになるよう研鑽してほしい。

《広報委員会》

委員長 伊藤 和子
副委員長 武田 正二
委員 鈴木 照一
遠藤 敬知
渡辺 博司
佐藤 俊弥
遠藤 喜昭